

小笠原動物対処室におけるオガサワラオオコウモリの診療実績（令和6年度）

1. 概 要 小笠原動物対処室は、外来種等による被害・影響を受ける野生動物の保護、飼い主のいないネコ対策、ペット由来の外来種を生み出さないための適正飼養の推進拠点

2. 設置者 環境省（小笠原世界遺産センター内の施設）

管理者 おがさわら人とペットと野生動物が共存する島づくり協議会（事務局：小笠原村環境課）
※獣医師、愛玩動物看護師の各1名が常駐

3. オオコウモリの診療実績

令和6年12月末までに保護された野生動物151個体（うち1頭は食害防止のために保護したコウモリ）のうちコウモリ8個体の治療を実施。また、生態情報の蓄積や傷病原因の判定のため、死亡した1個体の病理解剖を実施。計9個体に延べ41回対応し、野生復帰4頭（詳細は下表参照）。

表：令和6年度のオガサワラオオコウモリの対応実績

保護			保護状況	動物対処室等の対応状況			結果
年	月	日		主な内容	期間	回数	
2024	4	8	西町大村川擁壁 半分溺水→擦過傷	注射、皮下点滴、消毒、 外用薬塗布、MRSA検査	2024.4/9~10/2	13	2024.10/4 野生復帰
2024	6	4	西町 ネズミ捕獲用 粘着剤付着→翼膜壊死	注射、皮下点滴、消毒、 外用薬塗布、MRSA検査	2024.6/4~10/2	15	2024.10/4 野生復帰
2024	6	8	清瀬 集合住宅 衰弱→発熱	注射、皮下点滴	2024.6/8~16	4	2024.6/18 野生復帰
2024	7	16	西町 庭木ぶら下がり 幼獣	MRSA検査のみ	2024.10/8,11/14	2	飼育継続中
2024	7	27	東町 自転車ぶら下がり	MRSA検査のみ	2024.10/8,11/14	2	飼育継続中
2022	9	20	清瀬うずくまり 幼獣(飼育個体)	診察、MRSA検査	2023.7/25,8/3	2	飼育継続中
					2024.10/2	1	
2024	8	27	北袋沢 ハウス侵入 (パッショント食害防止のための保護)	MRSA検査のみ	2024.10/2	1	2024.10/4 野生復帰
2024	11	11	死亡個体 宮之浜道にて回収	病理解剖	2024.11/11	1	死因:感電死 岩手大に病理検査依頼
2024	12	26	農セン植栽木絡まり →右上腕骨骨折	皮下点滴、注射	2024.12/26~27	2	2024.12/27 手術前に死亡

【その他の診療実績の推移】

表：野生動物の対応実績一覧（平成 29 年度から令和 5 年度）

野生動物	治療個体 ／保護された負傷個体	その他の* 治療・処置個体	合計数（治療延べ回数）	野生復帰個体
平成 29 年度	27／104 個体	4 個体	31 個体（約 260 回）	3 個体
平成 30 年度	20／101 個体	4 個体	24 個体（194 回）	6 個体
令和元年度	12／139 個体	5 個体	17 個体（406 回） (うち飼育個体 191 回)	10 個体
令和 2 年度	15／107 個体	0 個体	15 個体（314 回）	11 個体
令和 3 年度	11／80 個体	0 個体	11 個体（212 回）	7 個体
令和 4 年度	6／170 個体	1 個体	7 個体（383 回） (ハト入院 281 日(回)含む)	4 個体
令和 5 年度	28／135 個体	18 個体	46 個体（230 回）	23 個体

*R4 までは飼育個体（オオコウモリのみ）。R5 は飼育個体 5 個体と死亡個体 13 個体。

- ・同室を運営する動物協議会では、「野生動物の治療費は協議会で当面負担するが、環境省等での整理を求める」と課題を整理している。
- ・山域で捕獲されたネコの負傷・衰弱・疾患個体や妊娠中の個体について、必要に応じて治療・処置
- ・イヌ、ネコ、モルモット、ハリネズミなどのペット約 500 件／年の診療と同時に、適正飼養も指導

参考

表：オガサワラオオコウモリの対応実績（平成 29 年度から令和 5 年度）

保護	年	月	日	保護状況	動物対処室等の対応状況			結果
					主な内容	期間	回数	
平成 29 年度以前に保護された個体、IBO 飼育個体								
2009	11	20		(飼育個体)	血液検査、糞便検査、皮下点滴・注射	2017.11/18~21	6	2017.11/21 死亡
2009	12	31		(飼育個体) 健康診断、元気低下	血液検査、細胞診、皮下点滴・注射	2018.5/24 2019.7/4~1/28	26	飼育継続中
2011	9	15		(飼育個体)健康診断	血液検査、内服薬	2019.8/1~3/27	9	飼育継続中
2012	9	27		(飼育個体)健康診断	血液検査	2017.12/5	1	2018.2/26 死亡
2014	8	5		(飼育個体)	細菌学的検査、翼膜洗浄	2017.9/21~11/21	86	2017.12/11 死亡
2016	6	20		(飼育個体)	血液検査、皮下注射	2017.6/23~7/20	20	2020.8/10 死亡
2016	8	25		(飼育個体)爪の外傷	皮膚検査、外用薬塗布、内服薬、皮下注射	2018.5/10~ 2019.10/3	9	飼育継続中
2017	1	4		(飼育個体)翼膜の外傷	血液検査、翼膜洗浄・消毒、皮下点滴・注射	2019.10/14~3/27	81	飼育継続中
平成 29 年度 コウモリの他、アカガシラカラスバト 2 羽、海鳥類 12 羽(コアホウドリ 1 羽、シロハラミズナギドリ 2 羽、セグロミズナギドリ 1 羽、カツオドリ 2 羽、コゲンカンドリ 1 羽、ハワイセグロミズナギドリ 1 羽、アナドリ 2 羽、オナガミズナギドリ 1 羽、シラオネッタイチョウ 1 羽)、その他の鳥類 10 羽を治療								
2017	4	17		キュウリネット絡まり	血液検査、外用薬塗布、皮下点滴・注射、内服薬	2017.4/18~6/1 2018.5/26	71	2018.5/27 野生復帰
2017	7	6		キュウリネット絡まり	血液検査、外用薬塗布、皮下点滴・注射	2017.7/7~13	12	2017.7/13 野生復帰
2017	8	25		農セン展示園	血液検査、保温、外部寄生虫駆除	2017.8/25	1	2017.8/26 死亡

保護			保護状況	動物対処室等の対応状況			結果
年	月	日		主な内容	期間	回数	
平成30年度 コウモリの他、アカガシラカラスバト5羽、オガサワラノスリ、オーストン、ウミツバメカツオドリ、アナドリ2羽、メダイチドリ、トラツグミを治療							
2018	5	11	高木果樹ネット絡まり	血液検査、外用薬塗布、皮下点滴・注射	2018.5/11~23	21	2018.5/24 野生復帰
2018	7	3	母島キュウリネット絡まり	血液検査、外用薬塗布、皮下点滴・注射 ※母島応急処置あり	2018.7/4~7/26	33	2018.8/3 野生復帰 →2019.6/1 死亡発見(母島)
2018	7	3	母島ハウス侵入(絡まり)	血液検査、皮下点滴・注射 ※母島応急処置あり	2018.7/4~6	3	2018.7/7 野生復帰(母島)
2018	7	3	母島ハウス侵入(絡まり)	血液検査、皮下点滴・注射 ※母島応急処置あり	2018.7/4~6	3	2018.7/7 野生復帰(母島)
2018	7	3	母島ハウス侵入(絡まり)	血液検査、皮下点滴・注射 ※母島応急処置あり	2018.7/4~13	18	2018.7/14 野生復帰(母島)
2018	8	27	都道脇(親からの脱落)	血液検査、皮下点滴・注射	2018.8/27~10/24	4	飼育継続中
2018	10	12	有刺鉄線絡まり	血液検査、外用薬塗布、皮下点滴・注射	2018.10/12~11/27	57	2019.1/15 野生復帰
2019	1	26	奥村で衰弱(幼獣)	血液検査、皮下点滴・注射	2019.1/26	1	2019.1/31 死亡
2019	1	31	二見港で衰弱(亜成獣)	血液検査、皮下点滴・注射	2019.1/31	1	2019.1/31 死亡
令和元年度 コウモリの他、アカガシラカラスバト2羽、オガサワラノスリ、アカオネッタイチョウ、オナガミズナギドリ、メジロを治療							
2019	4	6	東町テグス絡まり	血液検査、皮下点滴・注射、翼膜洗浄・消毒	2019.4/6~7/5	44	2019.7/9 野生復帰
2019	4	6	北袋沢キュウリネット絡まり	血液検査、皮下点滴・注射、翼膜洗浄・消毒	2019.4/6~7/8	56	2019.7/9 野生復帰
2019	5	10	奥村防鳥ネット絡まり	血液検査、皮下点滴・注射、翼膜洗浄・消毒	2019.5/10~6/25	30	2019.7/5 野生復帰
2019	5	20	母島元地ネット絡まり ※母島応急処置	血液検査、皮下点滴・注射、翼膜洗浄・消毒	2019.5/21~6/25	24	2019.6/29 野生復帰(母島)
2019	6	21	北袋沢ハウス迷い込み	血液検査、皮下点滴・注射、翼膜洗浄・消毒	2019.6/21~7/2	7	2019.7/5 野生復帰
2019	9	7	西町 枝ぶらさがり	眼科検査	2019.9/7	1	2019.9/8 野生復帰
令和2年度 コウモリの他、アカガシラカラスバト、オガサワラノスリ、アカオネッタイチョウを治療							
2020	7	28	農セン内 バナナの纖維絡まり	皮下点滴・注射、翼膜洗浄・消毒	2020.7/29~9/7	49	2020.9/8 野生復帰
2020	11	12	西町で衰弱(亜成獣) ※上腕骨解放骨折	レントゲン検査、血液検査、皮下点滴・注射、翼膜洗浄・消毒	2020.11/16~17	4	2020.11/17 内地搬送 (上野動物園)
2020	12	16	長谷ネット絡まり (妊娠中)	血液検査、レントゲン検査、皮下点滴・注射、洗浄・消毒	2020.12/16~ 2021.2/16	56	2021.4/5 野生復帰
2020	12	21	長谷ネット絡まり (妊娠中)	血液検査、皮下点滴・注射、翼膜洗浄・消毒	2020.12/21~ 2021.2/16	50	2021.4/5 野生復帰
2021	3	12	長谷ネット絡まり (妊娠中)	血液検査、皮下点滴・注射、翼膜洗浄・消毒、爪切り	2021.3/12~4/1	28	2021.4/5 野生復帰
2021	3	12	長谷ネット絡まり	血液検査、皮下点滴・注射、翼膜洗浄・消毒、爪切り	2021.3/12~30	24	2021.4/1 野生復帰

保護			保護状況	動物対処室等の対応状況			結果
年	月	日		主な内容	期間	回数	
2021	3	12	長谷ネット絡まり	血液検査、皮下点滴・注射、翼膜洗浄・消毒、爪切り	2021.3/12~22	11	2021.3/26 野生復帰
2021	3	13	長谷ハウス迷い込み	血液検査、皮下点滴・注射、翼膜洗浄・消毒、爪切り	2021.3/13~4/1	17	2021.4/1 野生復帰
2021	3	13	長谷ハウス迷い込み 2頭分	血液検査、皮下点滴・注射、翼膜洗浄・消毒、爪切り	2021.3/13~19 2頭分	16	2021.3/20 野生復帰
2021	3	13	長谷ハウス迷い込み	血液検査、皮下点滴・注射、翼膜洗浄・消毒、爪切り	2021.3/13~30	16	2021.4/1 野生復帰
令和3年度 コウモリの他、アカガシラカラスバト3羽、オガサワラノスリを治療							
2021	6	29	父島桑ノ木山 ネット絡まり(妊娠中)	血液検査、皮下点滴・注射、翼膜洗浄・消毒	2021.6/29~9/2	56	2021.9/10 野生復帰
2021	6	29	父島桑ノ木山 ネット絡まり	血液検査、皮下点滴・注射、翼膜洗浄・消毒	2021.6/29~8/12	50	2021.9/10 野生復帰
2021	6	29	父島桑ノ木山 ネット絡まり(亜成獣)	血液検査、皮下点滴・注射、翼膜洗浄・消毒	2021.6/29~7/30	45	2021.9/10 野生復帰
2021	8	3	清瀬都住近くの林で ぶら下がり	血液検査、レントゲン検査、皮下点滴・注射	2021.8/3~10/6	21	2022.1/3 野生復帰
2021	8	8	西町でぶら下がり (亜成獣) ※右翼開放骨折	血液検査、レントゲン検査、皮下点滴・注射、外用薬塗布、翼膜洗浄・消毒	2021.8/8~11	6	2021.8/11 内地搬送 (上野動物園)
2021	9	9	北袋沢でぶら下がり ※左上腕骨解放骨折	血液検査、レントゲン検査、皮下点滴・注射、翼膜洗浄・消毒、マッサージ	2021.9/10~19	11	2021.9/19 内地搬送 →12/20 死亡 (上野動物園)
2021	9	25	母島評議平 ネットハウス迷い込み	皮下点滴・注射	2021.9/25~10/4	16	2021.10/9 野生復帰(母島)
令和4年度 コウモリの他、アカガシラカラスバト3羽に対応							
2022	7	11	北袋沢 ネット絡まり	指示のみ(消毒、皮下点滴・注射、MRSA検査)	2022.7/11~8/1	9	2022.9/16 野生復帰
2022	7	18	北袋沢 ハウス迷い込み	指示のみ	2022.7/22~23	2	2022.8/16 野生復帰
2022	7	28	長谷 有刺鉄線 絡まり	指示のみ(消毒、皮下点滴・注射)	2022.7/28~8/9	23	2022.9/16 野生復帰
2018	8	15	(IBO産まれ飼育個体) 翼膜の外傷	血液検査、翼膜洗浄・消毒、皮下点滴・注射	2019.11/21~1/28	74	2023.2/23 どうぶつたちの 病院沖縄へ搬送 →5/3 帰島 飼育継続中
				指示のみ(内服薬処方)	2023.2/15	1	

保護			保護状況	動物対処室等の対応状況			結果
年	月	日		主な内容	期間	回数	
令和5年度（獣医師交代）コウモリの他、アカガシラカラスバト（死体含む）12羽、 オガサワラカワラヒワ（飼育個体）2羽、オガサワラノスリ、オナガミズナギドリ、シロハラミズナギドリ、アナドリ4羽、 アカオネッタイチョウ、カツオドリ、ムナグロ、ヒシクイを治療・処置（死亡個体の解剖含む）							
2023	4	7	清瀬の公園のゲットウ 内で衰弱 右上腕骨の複雑骨折	外科手術、血液検査、レント ゲン検査、洗浄・消毒、 皮下点滴・注射	2023.4/9~18	19	2023.4/18 死亡
2023	5	28	西町ネット絡まり 右前膜の翼膜壊死	洗浄・消毒、皮下注射	2023.5/29~6/11	15	2023.7/7 野生復帰
2023	6	7	小曲ネット絡まり 熱中症、翼膜壊死	洗浄・消毒、皮下点滴・注射、 MRSA 検査	2023.6/7~8/3	25	2023.8/25 野生復帰
2023	6	7	小曲ネット絡まり 熱中症、翼膜壊死	洗浄・消毒、皮下点滴・注射	2023.6/7~8/24	26	飼育継続中
2023	6	7	小曲ネット絡まり 熱中症、翼膜壊死	血液検査、洗浄・消毒、 皮下点滴・注射	2023.6/7~8/24	26	飼育継続中
2023	8	13	死亡個体 清瀬交差点で回収	病理解剖	2023.8/13	1	死因：感電死
2023	8	14	死亡個体 清瀬交差点で回収	病理解剖	2023.8/18	1	死因：感電死
2023	8	30	北袋沢ハウス入り込み	洗浄・消毒、皮下点滴	2023.8/30	1	2023.9/9 野生復帰
2023	10	26	扇浦結の道 衰弱	皮下点滴、病理解剖	2023.10/26	2	2023.10/26 死亡 死因：斃死
2023	10	30	旭平 低木ぶら下がり	洗浄・消毒、皮下点滴・注射、 外用薬、MRSA 検査	2023.10/30~11/5	7	2023.11/12 野生復帰
2023	11	17	北袋沢ハウス入り込み 9頭分	経口補液	2023.11/17 9頭分	9	2023.11/24 野生復帰

参考：動物対処室の事業別作業量（平成 29 年度から令和 5 年度）

事業名	(1)野生動物の保護	(2)飼い主のいないネコ対策	(3)ペットの適正飼養の推進
平成 29 年度			
診療個体数	31個体	22個体	77頭
診療延べ回数	約260回	約190回	666回
割合	23. 3%	17%	59. 7%
平均診療回数	8. 4回/個体	8. 6回/個体	8. 6回／頭
最大診療回数	86回/個体(飼育個体)	146回/個体(糖尿病個体)	42回/頭
平成 30 年度			
診療個体数	24個体	53個体	76頭
診療延べ回数	194回	314回	634回
平均診療回数	8. 1回/個体	5. 9回/個体	8. 3回／頭
最大診療回数	57回/個体	73回/個体	42回/頭
診療費合計※	1, 712, 400円	2, 505, 241円	6, 452, 890円
割合	16. 0%	23. 5%	60. 5%
令和元年度			
診療個体数	17個体(うち飼育個体5個体)	42個体	72頭
診療延べ回数	406回(うち飼育個体191回)	114回	716回
平均診療回数	23. 9回/個体	2. 7回/個体	9. 9回／頭
最大診療回数	81回/個体(飼育個体)	17回/個体	52回/頭
診療費合計※	3, 013, 794円	988, 999円	8, 190, 754円
割合	24. 7%	8. 1%	67. 2%
令和 2 年度			
診療個体数	15個体	67個体	109個体
診療延べ回数	314回	320回	671回
平均診療回数	20. 1回/個体	4. 8回/個体	6. 2回／頭
最大診療回数	56回/個体	52回/個体	38回/個体
診療費合計※	2, 617, 978円	3, 619, 737円	7, 128, 273円
(割合)	19. 6%	27. 1%	53. 3%
令和 3 年度			
診療個体数	14個体	18個体	113個体
診療延べ回数	215回	41回	701回
平均診療回数	15. 4回/個体	2. 3回/個体	6. 2回／頭
最大診療回数	56回/個体	6回/個体	34回/個体
診療費合計※	1, 463, 627円	297, 275円	7, 187, 195円
(割合)	16. 4%	3. 3%	80. 3%
令和 4 年度			
診療個体数	7個体	26個体	106個体
診療延べ回数	383回(ハト入院含む)	35回	603回
平均診療回数	54. 7回/個体	1. 3回/個体	5. 7回／頭
最大診療回数	302回/個体(入院個体)	5回/個体	30回/個体
診療費合計	1, 601, 171円	250, 283円	6, 759, 512円
(割合)	18. 6%	2. 9%	78. 5%
令和 5 年度			
診療個体数	46個体	42個体	106個体
診療延べ回数	230回	222回	570回
平均診療回数	5回/個体	5. 3回/個体	5. 4回／個体
最大診療回数	26回/個体(コウモリ) ハト入院個体除く	25回/個体(入院個体)	61回/個体(ネコ)
診療費合計	1, 994, 036円	1, 410, 585円	5, 132, 838円
(割合)	23. 4%	16. 5%	60. 1%

※平成 30 年度からは飼い主価格（1、2 の診療費は作業量の目安）をもとに作業量を比較。